

第10回 ゲノム・オミックス連携推進セミナー

「ヒト表現型多様性の理解に向けたマルチオミックス解析研究」

田嶋 敦 先生

金沢大学 医薬保健研究域医学系 革新ゲノム情報学分野 教授

【日時】 2月21日（水） 16:00～17:30

【場所】 医学部6号館 1階 講堂

※ セミナー終了後に、メガバンク棟3階小会議室1にて、講師との懇談会を予定しています。

【セミナー要旨】

元来、DNA、RNAといった生物学的階層それぞれについての網羅的情報（オーム）に基づく研究として定義された「オミックス」は、現在では、多種多様な大容量データを活用した研究を説明する用語としても使用され始めている。この背景には、種々の技術革新により、様々な分野において比較的簡便に大規模データセットを生成・取得することが可能となってきたことに加え、データ集約型・指向型科学の有用性が示されてきたことがある。疾患オミックス分野においては、多因子疾患を含めた数多くの疾患の病因・病態解明がなされ、個々人の違いを考慮した個別化医療・予防の実現に向けた取り組みも精力的に行われている。

本講演では、演者らがこれまでに取り組んできた疾患オミックス研究を中心に、ヒト疾患や疾患の背景因子となり得る様々な生理的測定値の個人差に関わる要因分析や、疾患サブタイプやハイリスク群の同定につながるバイオマーカー探査の現況などを紹介する。個別化医療や先制医療を実現するためには、ヒト表現型多様性の成立基盤に対するより深い理解が必要である。新たな医療を確立するために果たすべきマルチオミックス解析の役割や課題について議論したい。

担当：田邊（東北メディカル・メガバンク機構 ゲノムプラットフォーム連携センター）

連絡先：contact@gpc.megabank.tohoku.ac.jp（芳賀）